

ファックス機能

操作方法

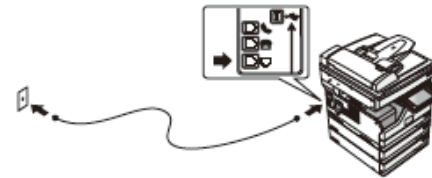
ファックスのしかた

基本的なファックスの操作手順を説明します。
詳しい使いかたは、『スキャナー・ファクス編』を参照してください。

事前に必要なこと

ファクス送信を始める前に、次の作業を完了しておいてください。

- ・ 機器を電話回線に接続する



- ・ 設置モードでファクス通信に必要な内容を登録する
下記の「初期設定（設置モード）をする」を参照して、登録してください。

初期設定（設置モード）をする

以下の項目を設定します。

設定	内容
言語	画面やリストなどに表示する言語を設定できます。
時刻設定	画面の時刻を正しく設定します。時刻指定送信や通信管理など、ファクスすべての基準になります。
ダイヤル種別	ファクスの受信に必要な設定です。 ダイヤル種別を「プッシュ」、「ダイヤル 20」、「ダイヤル 10」から選択します。選択が正しくない場合は、電話やファクスの発信ができません。「ダイヤル種別の見分けかた」(37 ページ) ハンドセット（オプション）を装着しているときは、ハンドセットのダイヤル種別も設定します。
ファクス受信モード	「ファクス待機」、「電話／ファクス待機」、「ファクス／電話待機」、「留守／ファクス待機」、「ダイヤルイン待機」から、ご使用に合わせた受信モードを選びます。
ダイヤルトーン検出	ダイヤルトーン（ツーンという発音音）を検出してから発信できます。通常は ON（検出する）ですが、内線に接続したときなど、交換機側からダイヤルトーンが発信されない場合は OFF（検出しない）に設定します。
発信元名	相手先に自局名（発信元名）を表示させたり、相手先の受信原簿にヘッダーとしてプリントしたりして、受信側でどこから送信された原簿なのかを確認しやすくなります。発信元名の設定には、発信元名とカナ ID があり、それぞれ 3 欄登録できます。 発信元名： 全角で 11 文字（半角で 22 文字）まで登録できます。 カナ ID： 通信中、相手機の画面に表示されます（当社機のみ）。半角で 16 文字まで登録できます。

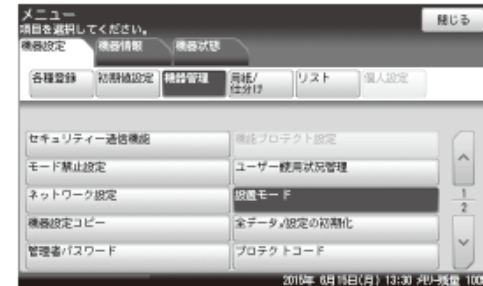
設定	内容
標準発信元名	登録した3種類の発信元名のうち、常に使う自局名(発信元名)を標準発信元名として登録できます。
発信元番号	発信元名とともに相手先の受信原簿の先頭に印字される自局(送信者のファクス番号)を20桁まで登録できます。
ナンバー・ディスプレイ設定	ナンバー・ディスプレイを利用するときに設定します。ナンバー・ディスプレイ対応電話機を接続する場合も、ここで設定を行Xいます。 ナンバーディスプレイ: ナンバーディスプレイのON/OFFを設定します。 電話機接続設定: ナンバー・ディスプレイ対応の電話機を増設電話機に接続する場合は、「増設電話接続」に設定します。その他の場合は、「未接続」に設定します。
タイムゾーン	タイムゾーンとは、グリニッジ標準時(GMT)からの時差(±12時間以内)と同じ時差を使っている地域のことです。日本の標準時は、グリニッジ標準時から9時間先行しています。インターネット時刻設定をご使用になる場合は、タイムゾーンを設定しておく必要があります。
スーパー G3	スーパー G3 を利用する場合は ON に設定します。
ファクシミリ通信網	ファクシミリ通信網を利用する場合は ON に設定します。
受信紙確認ランプ	ON に設定すると、受信したファクスをプリントしたときに、受信紙確認ランプが点灯します。一定の時間が経過するとランプを自動的に消灯させるのか、(ストップ)を押すまで点灯させるのか設定できます。 設定: 受信紙確認ランプの ON/OFF を設定します。 自動消灯: ランプを自動的に消灯させるかどうかを設定します。OFF に設定したときは、(ストップ)を押すまでランプは点灯したままです。 消灯時間: 自動消灯を ON に設定したときに、ランプが消灯するまでの時間を設定します。1分から100分の間で設定できます。

補足

- 受信紙確認ランプを ON に設定すると、受信紙確認ランプが点灯している間は、節電モードになりません。
- 受信紙確認ランプは、用紙を取り除いても自動では消灯しません。自動消灯時間が経過したとき、または(ストップ)を押したときに消灯します。
- 設定後、機器設定リストをプリントして、登録内容が正しいか確認してください。(メニュー) → [機器設定] タブ → [リスト] → [機器設定リスト] → [はい] と順に押します。
- オプションの2回線キットを装着すると、上記以外にも設定が必要な項目があります。『スキャナー・ファクス編』第4章の「回線を選択して送信する」を参照してください。

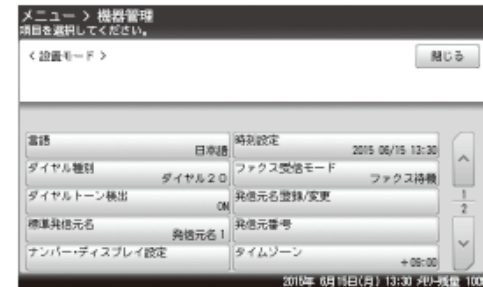
- (メニュー) を押します。
- [機器設定] タブを押します。
- [機器管理] を押します。
- 管理者パスワードを設定している場合は、管理者パスワードを入力し、[確定] を押します。
管理者パスワードを設定していない場合は、そのまま手順5に進みます。

5 [設置モード] を押します。



6 設定したい項目を選択します。

「ダイヤル種別」は必ず設定が必要です。



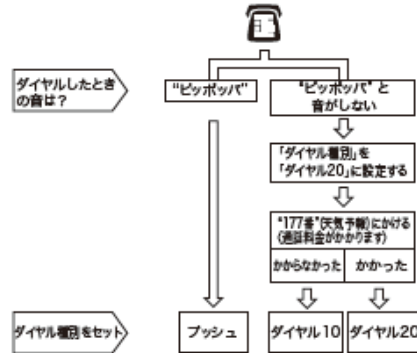
7 選択した項目を設定し、[確定] を押します。

- 発信元名を登録するときは、さらに[発信元名登録/変更]を押して[発信元名1]や[カナID1]などと押します。
- ナンバー・ディスプレイの設定をするときは、さらに[ナンバー・ディスプレイ]を押して、設定のON/OFFを選択します。接続している増設電話がナンバーディスプレイに対応しているときは、[電話機接続設定]を選択し、[増設電話接続]を選択します。
- 受信紙確認ランプの設定をするときは、[設定]を押して、設定のON/OFFを選択します。ONにしたときは、自動消灯のON/OFFを設定して、消灯までの時間も設定します。
- ダイヤルライン待機の設定方法については、『スキャナー・ファクス編』第4章の「受信のしかた」の「1 回線で複数の番号をつける(ダイヤルライン)」を参照してください。

8 登録が終了したら、[閉じる] を押します。

(リセット)を押すと待機画面に戻ります。

ダイヤル種別の見分けかた



ハンドセット（オプション）の回線の合わせかた
 ダイヤルタイプ切替スイッチをダイヤル種別に合わせます。
 ダイヤル種別が「プッシュ」のときは、「プッシュ」に合わせます。
 ダイヤル種別が「ダイヤル20」と「ダイヤル10」のときは、「ダイヤル」に合わせます。

補足

ダイヤル種別が「ダイヤル10」のときは、ハンドセットのテンキーを使って電話をかけることはできません。この場合は、操作パネルのテンキーを使用してください。

操作方法

基本操作

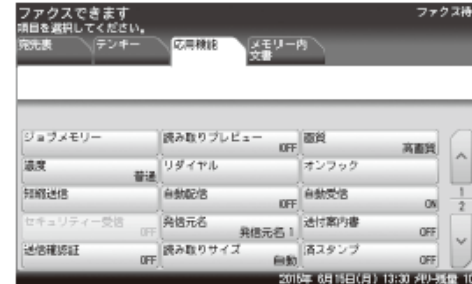
- 1 原稿をセットします。
 ・機器が節電モードになっているときは、〈節電〉を押しして節電モードを解除してから操作を始めてください。（→ 13 ページ）
 ・原稿セットのしかたは、「原稿をセットする」（28 ページ）を参照してください。



- 2 [ファクス] を押し、ファクスモードにします。



- 3 [応用機能] タブを押し、必要な機能を設定します。



4 [テンキー] タブを押し、テンキーでファクス番号を入力して、[確定] を押し ます。

- ・操作パネルのテンキーでも入力できます。
- ・相手先が宛先表に登録されているときは、[宛先表] タブで宛先を選択できます。
- ・複数の宛先に送信する場合は、この手順を繰り返します。



5 〈スタート〉 を押します。

- ・複数の宛先を指定した場合は、〈スタート〉を押した後、宛先確認の画面が表示されます。宛先に間違いがなければ、[確定] または 〈スタート〉 を押します。
- ・MFX-5180 で原稿を原稿ガラスにセットした場合は、原稿の読み取りが完了すると「次の原稿をセットしてください」というメッセージが表示されます。複数枚の原稿を読み取るときは、次の原稿をセットして、[次のページ] を押ししてください。すべての原稿の読み取り終了後、[送信開始] を押すと、送信を開始します。

補足

- ・よく使う宛先は、宛先表に登録しておくことで送信のたびにファクス番号を入力する必要がなくて便利です。(→ 89 ページ)
- ・宛先を入力するには、以下の方法があります。本書ではテンキーで入力する方法を説明しています。詳しくは、『スキャナー・ファクス編』第 6 章の「宛先を指定する」を参照してください。
 - ・宛先表から選択する
 - ・宛先を検索する
 - ・宛先を直接入力する
 - ・短縮番号を入力する
 - ・履歴から選択する
- ・〈スタート〉を押したあとで表示される宛先確認の画面が不要なときは、以下の手順で表示の設定を解除できます。(メニュー) → [機器設定] タブ → [機器管理] → (必要に応じて、管理者パスワードを入力) → [セキュリティ通信機能] → [宛先確認] → [OFF] → [確定]。詳しくは、『スキャナー・ファクス編』第 4 章の「セキュリティ機能」の「宛先確認を設定する (宛先確認)」を参照してください。

原稿の読み取りの設定をする (画質・濃度)

原稿に応じて、画質や濃度を設定してください。

画質

- 標準 : 文字だけの原稿に適した設定で読み取ります。
- 高画質 : 新聞など小さな文字の原稿に適した設定で読み取ります。
- 超高画質 : 精密なイラストや辞書のような細かい文字の原稿に適した設定で読み取ります。
- 写真 : 写真を読み取りたいときに選択します。
- 背景除去 : 車検証など地模様や地色などの背景のある原稿で、背景を消して読み取ります。

濃度

- 薄く : 薄く読み取りたいときに選択します。
- やや薄く : 普通よりもやや薄く読み取りたいときに選択します。
- 普通 : 標準の原稿を読み取りたいときに選択します。
- やや濃く : 普通よりもやや濃く読み取りたいときに選択します。
- 濃く : 濃く読み取りたいときに選択します。



1 [画質] または [濃度] を押します。

2 画質または濃度を設定して、[確定] を押します。

送信を中止したいとき

送信中のファクスを中止する場合は、〈ストップ〉または〈通信確認/ファクス中止〉を押します。

- 1 通信中に〈ストップ〉または〈通信確認/ファクス中止〉を押します。
 - ・通信中のジョブが表示されます。
 - ・通信中は機器状態ランプが点滅しています。



- 2 [削除] または [全削除] を押します。

- ・宛先が1件しかないときは、[削除]が表示されます。
- ・宛先が2件以上あるときは、[全削除]が表示されます。
- ・送信を中止しないときは [閉じる] を押します。



Q補足

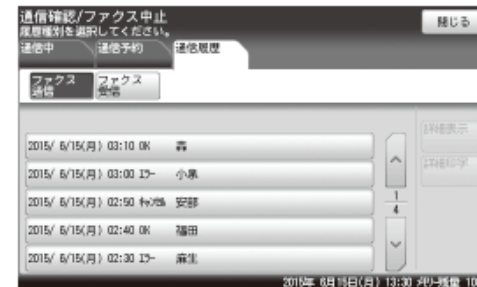
- ・複数の宛先に同じ原稿を送信している場合で個別に送信中止したいときは、[宛先詳細] を押し、中止したい宛先を選択し、[削除] を押します。
- ・送信予約中のジョブを削除したり、通信結果を確認したりすることもできます。詳しくは、『スキャナー・ファクス編』第3章の「ファクスを中止・確認する」を参照してください。

操作方法

通信結果を確認する

□ 通信結果を画面で確認する

- 1 〈通信確認/ファクス中止〉を押します。
機器が通信中のときは、[通信中] タブが表示されます。
- 2 [通信履歴] タブを押します。
- 3 通信履歴を表示したい項目を選択します。



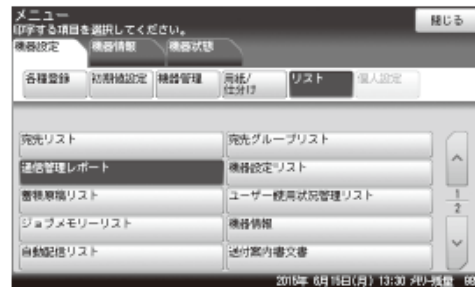
- ・送信結果を確認するときは、[ファクス送信] を押します。
- ・オプションの Information server を装着しているときは、[メール送信]、[メール受信]、[フォルダー送信]、[FTP送信] のボタンも表示されます。

- 4 通信履歴を確認します。

- ・通信結果の詳細を確認するときは、確認したい通信結果を選択し、[詳細表示] を押します。
- ・通信結果の詳細をプリントするときは、確認したい通信結果を選択し、[詳細印字] を押します。
- ・通信した日時の右に「エラー」と表示されているときは、通信が正常に終了していません。通信の詳細を表示して、アルファベットと数字のコードを確認してから、通信をやり直してください。エラーコードの詳細は、『メンテナンス・トラブル解決編』第2章の「エラーメッセージについて」の「ファクス通信のエラーコード」を参照してください。

□ 通信結果をリストで確認する

- 1 〈メニュー〉を押します。
- 2 [機器設定] タブ、[リスト] と順に押します。
- 3 [通信管理レポート] を押します。



- 4 通信履歴をプリントしたい項目を選択します。



- ・送信結果を確認するときは、[ファクス送信] を押します。
- ・オプションの Information server を装着しているときは、[メール送信]、[メール受信]、[メール送受信]、[フォルダー送信]、[FTP送信] のボタンも表示されます。

- 5 プリント方法を選択し、[はい] を押します。

- ・「両面印字」を [ON] にすると、用紙の両面にプリントします。V-780 では表示されません。
- ・「ページ集約」を [ON] にすると、リスト 2 枚分を 1 枚の用紙に並べてプリントします。
- ・「センターマーク印字」を [ON] にすると、パンチの目印になるセンターマークを用紙の 1 ページ目の各辺にプリントします。

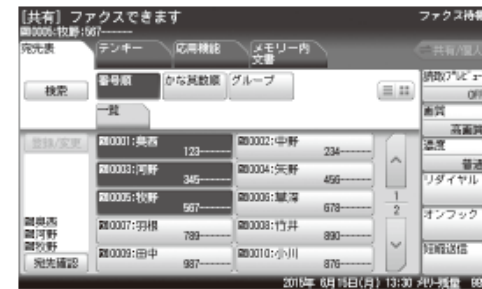
- 6 通信履歴を確認します。

- ・「結果」の欄に「OK」と表示されているときは、通信が正常に終了しています。
- ・「結果」の欄にアルファベットと数字のコードが表示されているときは、通信が正常に終了していません。コードを確認して、通信をやり直してください。コードの詳細は、『メンテナンス・トラブル解決編』第 2 章の「エラーメッセージについて」の「ファクス通信のエラーコード」を参照してください。

多数の宛先に一度で送信する（同報送信）

ファクスを送信するときに、宛先を複数設定できます。

- 1 原稿をセットします。
原稿セットのしかたは、「原稿をセットする」(28 ページ) を参照してください。
- 2 [ファクス] を押して、ファクスモードにします。
- 3 テンキーでファクス番号を入力し、[確定] を押します。
- 4 手順 3 を繰り返して、複数の宛先を指定します。
- 5 宛先表の宛先を指定するときは、[宛先表] タブから送信する宛先を選択します。



- ・選択された宛先は反転して表示されます。
- ・選択した宛先をもう一度押すと、選択が解除されます。
- ・[宛先確認] を押すと、宛先が確認できます。宛先確認画面で、宛先の削除もできます。

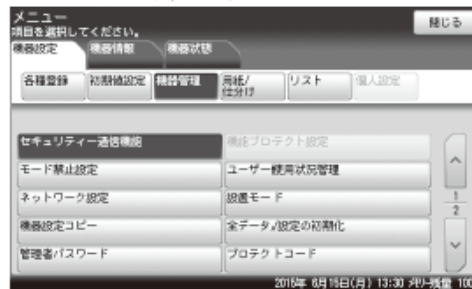
- 6 〈スタート〉を押します。

- ・〈スタート〉を押した後、宛先確認の画面が表示されます。宛先に間違いがなければ、[確定] または 〈スタート〉 を押します。
- ・MFX-5180 で原稿を原稿ガラスにセットした場合は、原稿の読み取りが完了すると「次の原稿をセットしてください」というメッセージが表示されます。複数枚の原稿を読み取る場合は、次の原稿をセットして、[次のページ] を押してください。すべての原稿の読み取り終了後、[送信開始] を押すと、送信を開始します。

同報送信を禁止する

意図せぬ宛先への誤送信を防ぐために、宛先を複数設定できないようにします。

- 1 **〈メニュー〉** を押します。
- 2 **〔機器設定〕** タブを押します。
- 3 **〔機器管理〕** を押します。
- 4 管理者パスワードを設定している場合は、**管理者パスワード**を入力し、**〔確定〕**を押します。
管理者パスワードを設定していない場合は、そのまま手順5に進みます。
- 5 **〔セキュリティ-通信機能〕** を押します。



操作方法

- 6 **〔同報送信〕** を押します。
- 7 同報送信を許可する場合は **〔ON〕**、禁止する場合は **〔OFF〕** を選択し、**〔確定〕**を押します。
- 8 **〔閉じる〕** を押します。
操作を終了する場合は、**〈リセット〉** を押します。

補足

- 同報送信をOFFにした場合に、2箇所以上の宛先を指定しようとする時「同報送信禁止中です。」と表示されます。
- 同報送信の禁止設定以外にも、誤送信を防止するためにさまざまなセキュリティ機能があります。詳細は、『スキャナー・ファクス編』第4章の「セキュリティ機能」を参照してください。

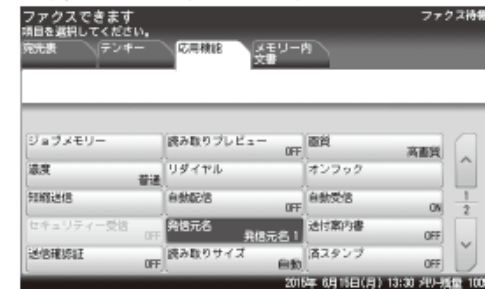
発信元情報を変更する（発信元名）

相手先でプリントされるファクスに表示される発信元名（自局名）を、あらかじめ登録した3種類から通信ごとに設定できます。また、「OFF」を選択すると、相手先でプリントされるファクスに、発信元名、発信元番号、送信日時がプリントされません。

補足

- 発信元名はあらかじめ登録しておいてください。登録方法は、「初期設定（設置モード）をする」（34ページ）を参照してください。
- 受信したファクスにプリントされる相手先の情報は、送信者（相手先）が設定しているものです。受信側では設定できません。

- 1 **原稿をセット**します。
原稿セットのしかたは、「原稿をセットする」（28ページ）を参照してください。
- 2 **〔ファクス〕** を押して、**ファクスモード**にします。
- 3 **〔応用機能〕** タブ、**〔発信元名〕** の順に押します。



- 4 **〔ON〕** または **〔OFF〕** を選択します。
「OFF」を選択したときは、続けて **〔確定〕** を押し、手順6に進みます。
- 5 使用する発信元名を選択し、**〔確定〕** を押します。
- 6 宛先を指定して、**〈スタート〉** を押します。
 - 複数の宛先を指定した場合は、〈スタート〉を押した後、宛先確認の画面が表示されます。宛先に間違いがなければ、**〔確定〕** または **〈スタート〉** を押します。
 - MFX-5180で原稿を原稿ガラスにセットした場合は、原稿の読み取りが完了すると「次の原稿をセットしてください」というメッセージが表示されます。複数枚の原稿を読み取るときは、次の原稿をセットして、**〔次のページ〕** を押してください。すべての原稿の読み取り終了後、**〔送信開始〕** を押すと、送信を開始します。

受信原稿を配信する（自動配信）

相手機から送信されてくる情報（配信条件）を元に特定の受信ファクスだけを、指定の宛先（配信先）に配信する設定（個別設定）が登録できます。個別設定は、100 件まで登録できます。このほか、個別設定では、配信条件の優先順位、配信期間、配信するファクスをプリントするかどうか（受信文書プリント）などが設定できます。

補足

- ・配信先は、宛先表から選択します。あらかじめ宛先表に配信（転送）したい相手先を登録してください。
- ・オプションの Information server を装着したときは、用紙にプリントせずに電子メールで配信（転送）できます。（→ 84 ページ）
- ・この機能は、手動受信が設定されているときは使用できません。ファクスの待機画面で、「電話待機」と表示されているときは、手動受信が設定されています。[応用機能] タブ → [自動受信] と押して、自動受信を ON に設定してください。

自動配信の設定は、次の項目を設定します。

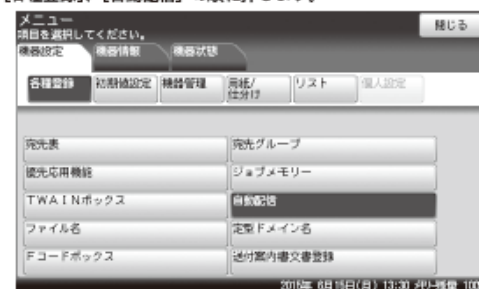
項目	説明
個別設定	自動配信の設定が「ON」の場合、登録した配信設定を個別に有効にする（ON）か、無効にするか（OFF）を設定できます。「OFF」に設定すると、自動配信設定が「ON」でも配信を行いません。
設定名	個別設定に名前をつけます。全角 15 文字（半角 30 文字）まで入力できます。
配信先	配信（転送）する宛先です。配信先はあらかじめ登録されている宛先表から複数選択できます。
優先度	優先順位を 3 段階で設定できます。
	[高] 受信原稿が複数の配信条件に一致したときに最優先されます。
	[中] 受信原稿が複数の配信条件に一致したときで、[高] の条件に当てはまらない場合に優先されます。
	[低] 受信原稿が複数の配信条件に一致したときで、[高] [中] の条件に当てはまらない場合に適用されます。
配信条件	受信した原稿を配信する条件です。
[ファクス番号]	特定のファクス番号から受信したファクスだけを配信する場合に設定します。40 桁まで入力できます。数字のみ入力できます。
照合方法	配信条件に設定したファクス番号と、どのように照合するのかが設定します。 「と一致する」: 入力したファクス番号と、相手のファクス番号が完全に一致する場合に配信します。 「から始まる」: 相手のファクス番号が、入力したファクス番号で始まる場合に配信します。たとえば、1234 と登録した場合、相手先ファクス番号が 1234567890 や 123498765 のように 1234 から始まっている場合は、受信文書を配信します。 「で終わる」: 相手のファクス番号が、入力したファクス番号で終わる場合に配信します。たとえば、7890 と登録した場合、相手先ファクス番号が 1234567890 や 654327890 のように 7890 で終わっている場合は、受信文書を配信します。 「を含む」: 相手先ファクス番号が、入力したファクス番号を含む場合に配信します。たとえば、1234 と登録した場合、相手のファクス番号が 00012340000 や 9912349999 のように 1234 が含まれている場合は、受信文書を配信します。

項目	説明
[サブアドレス]	F コード通信で受信した原稿を配信するときに設定します。サブアドレスは、数字、#、* を含めて 20 桁まで入力できます。設定しないときは、何も入力しません。 なお、相手が指定した F コードのサブアドレスやパスワードが、機器の F コードボックスで使われている場合は、転送せずにその F コードボックスに受信します。
[パスワード]	F コード通信で受信した原稿を配信するときに設定します。パスワードは、数字、#、* を含めて 20 桁まで入力できます。設定しないときは、何も入力しません。
[送信回数]	1 回録目と 2 回録目のどちらの回線から受信するかを絞り込みます。オプションの 2 回線キットを装着していない場合は、この項目は表示されません。
配信期間	設定した曜日・時刻になると、配信を開始します。曜日だけ、または時刻だけといった登録もできます。登録しない場合は、時刻にかかわらず配信を行います。時刻は 24 時間制の 2 桁で入力します。
受信文書プリント	ON に設定すると、受信したファクスを機器でもプリントします。

ここでは、土曜日と日曜日に受信したファクスを、すべて自宅のファクス番号に転送する場合を例に、説明します。

- ・設定名は、「週末設定」にします
- ・配信先に、自宅のファクス番号を設定します
- ・優先度は、「高」を選択します
- ・すべての受信ファクスを転送したいので、配信条件は設定しません
- ・配信期間は、曜日に「土」と「日」を、配信時刻に「00:00」から「23:59」を設定します
- ・受信した機器でもプリントしたいので、受信文書プリントは「ON」に設定します

- 1 (メニュー) を押します。
- 2 [機器設定] タブを押します。
- 3 [各種登録]、[自動配信] の順に押します。



- 4 [登録] を押します。
登録済みの設定を変更する場合は、変更したい個別設定を選択して [変更] を押します。

- 5 配信先を選択して、[確定] を押します。
今回は、自宅のファクス番号を宛先表から選択します。宛先表に登録されていないときは、登録が必要です。(→88 ページ)
- 6 設定名を入力して、[確定] を押します。
今回は、「週末設定」と登録します。
- 7 [優先度] を押します。
- 8 優先度を選択し、[確定] を押します。
今回は、「高」を選択します。
- 9 [配信条件] を押します。
- 10 特定の相手先から受信するファクスを配信したいときは、[ファクス番号] を押してファクス番号を入力します。最後に [確定] を押します。

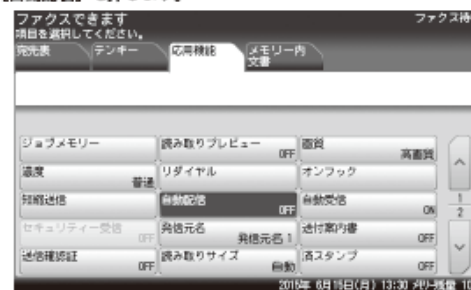


- ・すべての受信ファクスを配信するときは、設定は不要です。
- ・今回は、すべての受信ファクスを配信するので、設定しません。

- 11 照合方法を変更したい場合は、[と一致する] を押して照合方法を選択し、[確定] を押します。
たとえば、「075」で始まる相手先から受信するファクスだけを配信したいときは、手順 10 でファクス番号に「075」を入力します。[と一致する] を押して、[から始まる] を選択し、[確定] を押します。
・選択した照合方法がボタン名として表示されます
- 12 必要に応じて、サブアドレス、パスワード、通信回線を設定します。
オプションの2回線キットを装着していない場合は、通信回線の設定は表示されません。
- 13 [確定] を押します。
- 14 [配信期間] を押します。
- 15 [曜日指定] または [配信時刻] を押して、配信期間を設定します。最後に [確定] を押します。
・曜日と時間は、どちらかまたは両方設定できます。
・今回は、[曜日指定] に「土」と「日」を、[配信時刻] に「00:00」から「23:59」を設定します。
- 16 [閉じる] を押します。

操作方法

- 17 [受信文書プリント] を押します。
- 18 [ON] または [OFF] を選択して、[確定] を押します。
今回は、[ON] を設定します。
- 19 [閉じる] を押します。
個別設定の登録が終わるときは、(リセット) を押します。
続けて、自動配信の設定を有効にします。
- 20 [ファクス] を押して、ファクスモードにします。
- 21 [応用機能] タブを押します。
- 22 [自動配信] を押します。



- 23 [ON] を選択して、[確定] を押します。
・個別設定で ON に設定している自動配信の設定が有効になります。
・[OFF] を押すと、自動配信の設定が OFF になります。
・これで手順は終了です。設定した時刻になると、自動配信が始まります。

設定例

たとえば、金曜日の 17:00 から月曜日の 8:00 までの間に受信したファクスを配信したい場合は、同じ配信先と配信条件で、配信期間が異なる自動配信の個別設定を3つ登録します。

- ・個別設定 1：「配信期間」の設定を次のように設定する。
 - ・曜日指定：金
 - ・配信開始時刻：17:00
 - ・配信終了時刻：23:59
- ・個別設定 2：「配信期間」の設定を次のように設定する。
 - ・曜日指定：土、日
 - ・配信開始時刻：00:00
 - ・配信終了時刻：23:59
- ・個別設定 3：「配信期間」の設定を次のように設定する。
 - ・曜日指定：月
 - ・配信開始時刻：00:00
 - ・配信終了時刻：08:00

補足

設定後、リストをプリントして、登録内容が正しいか確認してください。(メニュー) → [機器設定] タブ → [リスト] → [自動配信リスト] → [はい] と順に押します。

受信した原稿を画面で確認する（受信プレビュー印字）

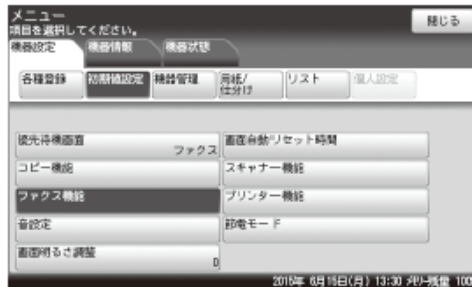
受信したファクスをメモリーに保存しておいて、タッチパネルに表示して確認できます。確認後、プリントするか削除するか選択できます。不要なファクスをプリントしないので、用紙の節約になります。

補足

- この機能では、受信した原稿は250件までしかメモリーに保存されません。250件を超えたときは、受信ができなくなります。確認した原稿は、削除またはプリントして、メモリー内の受信ファクスが250件を超えないようご注意ください。
- この機能は、オプションのInformation serverが装着されているときは使用できません。

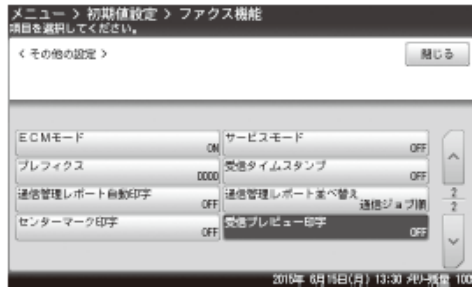
□ 受信プレビュー印字を設定する

- 1 〈メニュー〉を押します。
- 2 [機器設定] タブ、[初期値設定] の順に押します。
- 3 [ファクス機能] を押します。



操作方法

- 4 [その他の設定] を押します。
- 5 [受信プレビュー印字] を押します。



- 6 [ON] を選択して、[確定] を押します。
[OFF] を選択すると、設定がOFFになります。

□ 受信したファクスを画面で確認する

ファクスを受信しているときは、機器状態ランプが緑色に点灯し、画面に「受信原稿があります。」と表示されます。



- 1 [ファクス] を押して、ファクスモードにします。
- 2 [メモリー内文書] タブ、[受信原稿] の順に押します。



- 3 確認したい受信原稿を選択して、[プレビュー]を押します。
 ・すべてプリントする場合は、原稿を選択せずに [全印字]、[はい] と押します。
 ・原稿をプリントする場合は、原稿を選択して [印字]、[はい] と押します。
 ・原稿を削除する場合は、原稿を選択して [削除]、[はい] と押します。

4 受信原稿を確認します。

- ・送信者の情報、受信原稿サイズ、受信原稿枚数、受信日時が表示されます。
- ・[閉じる] を押すと、手順 3 に戻ります。



回転ボタン
表示されているイメージを90度ずつ回転できます。

拡大/縮小ボタン
表示されているイメージを拡大したり、縮小したりできます。

表示移動カーソル
表示が画面に収まっていないときに、表示範囲を移動できます。

ページ移動カーソル
ページを送ったり戻したりできます。

5 表示している受信原稿をプリントする場合は [印字] を、削除する場合は [削除] を押します。

原稿はプリントすると、メモリーから削除されます。

6 [はい] を押します。

- ・[いいえ] を押すと、手順 5 に戻ります。
- ・これで手順は終了です。ほかの受信ファクスを確認するときは、手順 2 から繰り返します。

ダイレクトメールを防止する

宛先表に登録されている番号だけ受信できるようにしたり、登録した番号の受信を拒否したりできるので、迷惑ファクスを防止できます。

Q補足

- ・ダイレクトメール防止を設定すると、相手にファクス番号が登録されていない場合や、相手がファクス番号を送信してこない場合も、ファクスを受信しません。
- ・この機能を設定すると、ファクスが受信できない場合があります。

ダイレクトメール防止には3種類の方法があります。

モード名	説明
モード1	宛先表に登録されている番号だけ受信します。(最大20桁まで照合します。)宛先表以外の相手からの受信は、拒否します。
モード2	登録した番号の受信を拒否します。受信を拒否したい相手のファクス番号を登録します。ファクス番号は、20桁、最大50件まで登録できます。
モード3	モード1、2を合わせた方法です。宛先表に登録されている番号からのみ受信しますが、宛先表に登録されていても拒否したい番号として登録しておけば、その相手からの受信は拒否します。
OFF	ダイレクトメール防止を行いません。

1 <メニュー> を押します。

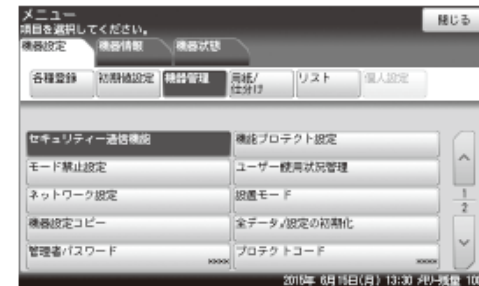
2 [機器設定] を押します。

3 [機器管理] タブを押します。

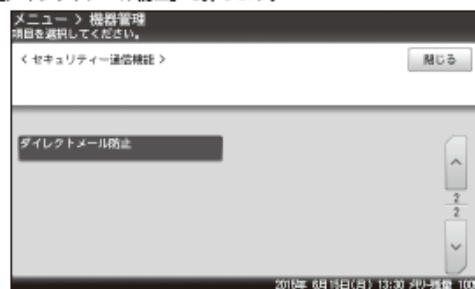
4 管理者パスワードを設定している場合は、管理者パスワードを入力し、[確定] を押します。

管理者パスワードを設定していない場合は、そのまま手順 5 に進みます。

5 [セキュリティ通信機能] を押します。



6 [ダイレクトメール防止] を押します。



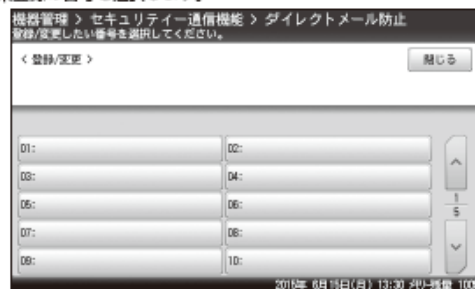
7 [設定] を押します。

8 モードを選択して、[確定] を押します。

- ・ [OFF] または [モード 1] を選択したときは、この手順で終了です。
- ・ [モード 2] または [モード 3] を選択した場合は、次の手順へ進みます。

9 [登録/変更] を押します。

10 未登録の番号を選択します。



すでに登録されている番号を変更する場合は、変更したい番号を選択します。

11 受信拒否するファクス番号を入力し、[確定] を押します。

続けて他の番号を登録する場合は、手順 10 から操作を繰り返します。

12 [閉じる] を押します。

補足

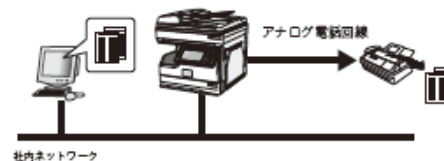
モード 2 またはモード 3 を設定したときは、リストをプリントして、登録内容が正しいか確認してください。〈メニュー〉→ [機器設定] タブ → [リスト] → [ダイレクトメール防止リスト] → [はい] と順に押します。

PC-FAX とインターネットファクスについて

オプションの Information server が装着されているときは、コンピューターから直接ファクスしたり (PC-FAX)、メールアドレスに送信したり (インターネットファクス) できます。

PC-FAX

アプリケーションソフトウェアで作成した文書を、コンピューターから直接ファクス送信できます。用紙にプリントしないので、用紙を節約できます。



インターネットファクス

機器で読み込んだ原稿を、相手のメールアドレスに E メールとして送信します。インターネット回線を使うので、通信料金を節約できます。

